

実践型!

補助金 対象

医療DX人材育成プログラム

実際の病院で医療DXを実施している講師だからこそ伝えられる、実践型のプログラムです。単なる、概念知識やコーディングやプロンプトを伝える内容ではありません。既存の参加者の病院の課題に沿ったプログラムを自ら作っていく、実践型のプログラムです。

ゴール像

参加者が病院内で実際にDXによる課題解決を推進していくことをゴールとしているため、所属病院の院長や部門長の推薦を必要とします。教育期間中、所属病院からの建設的フィードバックを受け、実データを用いて実習いただくことが望ましいと考えています。

プログラムが初めての方に向けて基本を丁寧に解説します。限られた時間でアウトカムを高めるためChatGPT等も適宜活用し、まずは小さいタスクから自動化する流れを習得いただきます。

講師紹介



谷田病院 IT担当
那須 照広



谷田病院 事務部長
藤井 将志

※講師紹介の詳細は裏面参照

参加条件

参加者が病院内で実際にDXによる課題解決を推進していくことをゴールとしているため、所属病院の院長や部門長の推薦を必要とします。教育期間中、所属病院からの建設的フィードバックを受け、実データを用いて実習いただくことが望ましいと考えています。

参加形式

オンラインにて実施します。基本的にはライブ参加をお願いしています。振り返り用、参加できなかった場合用にアーカイブ配信もいたします。

時期 2024年12月上旬から開始予定 1年間

申し込みは
こちら▼

時間 毎回60分程度 (合計41時間)

費用 30万円(税込)

実質**35,640円**

募集定員 5名限定

申し込み <https://www.yatsuda-kai.jp/learnidx>



ハローワークの「事業展開等リスクリング支援コース」の補助金

約**264,360円**が補助金で戻ります

※補助金申請手続き支援いたします

| 分類 | テーマ | 授業回数 | 内容 |
|-----------------|---|------------|----------------------------------|
| キックオフ | 顔合わせとオリエンテーション | 1 | 受講者と推薦者(病院長等)同席によるゴール共有 |
| 【1】Perl基礎編 /4か月 | Perlのインストール | 1 | アイズブレイク、ソフトのインストール |
| | 変数の取り扱い | 0.5 | スカラー変数の設定と変更 |
| | 四則演算 | 0.5 | 一般的な計算をしてみる |
| | 文字列の取り扱い | 1 | 文字列変数を操作してみる |
| | 配列データの取り扱い | 1 | CSVのデータを配列に代入し、加工する |
| | 連想配列の取り扱い | 1 | CSVのデータを連想配列に代入し、加工する |
| | 多次元配列 | 2 | Real World Dataを多次元配列に保持し、自動処理する |
| | 正規表現 | 1 | 意図する書式のデータであるか識別する |
| | 構造化処理(for, while, if) | 2 | 実装したい処理を論理的にまとめる |
| | 自分で定義する関数 | 1 | プログラムを効率的に記述する |
| | ファイルハンドル | 1 | ファイルの入力・出力やりとり |
| | データ取り扱いに関する作法 | 1 | 文字コードははじめ知っておくべきこと |
| | オープンデータによる自動化事例 | 3 | NDBや厚生労働省開示のデータによる分析・自動化 |
| | 【2】関連ツール/4か月 | PowerShell | 4 |
| VBA | | 4 | 最終的な資料等を一連のプログラムとして生成させる |
| R | | 6 | 分析、可視化、Perlとの連携 |
| 振り返りとツール開発に向けて | | 2 | 必要に応じて補講 |
| 【3】ツール開発 /4か月 | 所属病院のニーズから自動処理や分析を行うプログラムを作成する。講師と一緒に取り組みつつ、各受講生の事業を共有し幅を広げていく。事例はレベルと件数は習熟度合いによるため、4ヶ月でできる限り多くのプログラム作成と所属病院での実装を目指す。 | 8 | 隔週で開催。途中質問はウェルカム |

上記のカリキュラムは、開始後の受講者様の学習進度や参加病院のニーズに合わせて調整します。限られた期間で多くのことを習得いただけるよう努めます。

講師メッセージ

医療現場から直接ニーズを吸い上げ、必要なシステムを発案、院内調整し、院内開発してきました。
院内にすでに備わっているユーティリティを活用したものです。
貴院のIT担当者が同様に自走して自動化・問題解決できるようお手伝いいたします。

講師紹介

プロフィール

- 大手半導体メーカーでメモリ製品設計と半導体設計システムの開発に20年以上従事
- 大手電カルベンダーのパートナー企業でDWH（Data Warehouse）担当として医療業界に参画
- 6病院を擁する医療法人の法人本部業務推進室でより良い医療・より良い収支のための改善を推進
- 2020年から谷田病院でIT担当主任ではあるが、ITの括りにとらわれない幅広い業務を推進中。現在に至る。



発表（抜粋）

- 2022年2月 月刊 新医療 総特集「先進ITが果たす医療安全実現の可能性」
“接触”に特化した対Covid-19 DX「ACCENT」の院内開発
- 2022年7月 日本医療情報学会 看護学術大会
Google/OR-toolsによる病棟勤務計画の自動立案 DX
- 2023年6月 日本医薬品情報学会 学術大会
薬剤添付情報と電子カルテのデータを突合し副作用発現を自動検知・表示するシステム
- 2023年7月 MIRAIIS ユーザーフォーラム 事例発表
コロナ病床稼働、院内クラスタを経て羽化する院内発 DX
発表後の参加医療機関の反応より、MIRAIIS正式機能に採用いただき開発中
- 2023年11月 日本医療情報学会 学術大会
新規診療報酬算定項目を獲得するためのユニークな検出手法の確立
- 2024年6月 日本医療マネジメント学会 学術総会
ランサムウェア被害時でも診療を継続できる診療情報参照システム RECOVER の開発
学会発表後、医療誌新医療の12月セキュリティ特集号にて掲載予定
- 2024年8月 日本医療情報学会 看護学術大会
電子カルテや院内サイトを開かないプッシュ型情報共有システム TIMELY の開発